

会計名 一般会計			市民講座開設事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	社会教育センター		
10	6	3					担当係	社会教育センター		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。			主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期と後期に分けて約3か月間で開設し、市民が気軽に学習活動に参加できる場を提供する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	市内在住・在勤または在学の人			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・市民講座開設数 13講座 ・市民講座受講者数 256人		・市民講座開設数 15講座 ・市民講座受講者数 300人		・市民講座開設数 8講座 ・市民講座受講者数 97人 ※前期7講座中止		・市民講座開設数 15講座 ・市民講座受講者数 200人		
成果		受講者の知識・教養の向上、技能の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。								
課題		新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため前期の市民講座は中止し、後期の市民講座は定員を減らして開催したことにより受講者数が例年に比べ大幅に減少した。 市民講座受講後の受講者の施設利用を考慮し、受講者による新たな自主サークル結成や自主サークルへの参加の促す必要がある。								
指標		指標名称（単位）				実績値			目標値	
成果指標	市民講座受講者数（人）				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
指標					256	300	97	200	300	
他市との比較検証	近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。									
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		984	968	689	1,185	合計		688,790 円	
	財源	特定財源	191	209	78	240	報償費	494,000 円		
		一般財源	793	759	611	945	需用費	72,440 円		
	職員人件費 ②		6,558	3,081	3,360	3,013	役務費	50,000 円		
	総事業費（①+②）		7,542	4,049	4,049	4,198	使用料及び賃借料	72,350 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		講座受講料						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			市民講座開設事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	社会教育センター
款	項	目		担当係	社会教育センター
10	6	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	各種講座の開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	時代の変化に対応したプログラムの提供など、市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、各種講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			学習発表会実施事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	社会教育センター		
款	項	目					担当係	社会教育センター		
10	6	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	社会教育センターの利用団体が日頃の学習成果を発表・展示することにより、学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図る。			主たる内容	学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表、茶会等を年1回、社会教育センター全館で実施する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	社会教育法							
	対象者	社会教育センター利用団体及び地域住民			事業期間	平成2年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		11月18日（日）開催 ・参加団体数 23団体 ・参加者数 250人 ・入場者数 530人		11月17日（日）開催 ・参加団体数 29団体 ・参加者数 329人 ・入場者数 611人		11月15日（日）開催 ・参加団体数 13団体 ・参加者数 147人 ・入場者数 318人		11月21日（日）開催 ・参加団体数 15団体 ・参加者数 200人 ・入場者数 400人		
成果		来場者が参加・体験できる1DAY講座などを開催することによりコロナ禍においても入場者数を確保することができ、参加団体の活動の推進に貢献することができた。								
課題		新型コロナウイルス感染症への懸念から参加団体数が例年に比べ大幅に減少した。活動団体の意見を聞きつつ協力して感染症対策をより一層行い、参加団体や入場者の増加に繋がる魅力的な企画を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		参加団体数（団体）			23	29	13	15	25	
成果指標		来館者数【参加者数+入場者数】（人）			780	940	465	600	800	
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果を発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。※令和2年度は全て中止								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		366	368	370	372	合計	369,550 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	320,000 円		
		一般財源	366	368	370	372	使用料及び賃借料	49,550 円		
	職員人件費 ②		3,086	2,696	3,360	3,013				
	総事業費（①+②）		3,452	3,064	3,730	3,385				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			学習発表会実施事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	社会教育センター
款	項	目		担当係	社会教育センター
10	6	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	社会教育センターの利用団体である市民が、日頃の学習成果を発表・展示することで学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図るため、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	社会教育センターの利用団体で構成される実行委員会に委託し、活動の充実・活性化を図り、学習意欲の一層の向上や参加促進を行い、効率的な運営を行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	学習成果の発表の場の提供など、市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	学習発表会を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、学習発表会を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			施設管理事業				担当部	教育部			
一般会計							担当課	社会教育センター			
款	項	目					担当係	社会教育センター			
10	6	3									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習								
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進								
	目的	生涯学習施設（社会教育センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。			主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画								
		根拠法令	社会教育法、刈谷市社会教育センター条例、刈谷市公民館条例								
		対象者	市民		事業期間	昭和50年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画			
		・中央公民館利用者数 45,005人 ・施設利用率 36.6%		・中央公民館利用者数 45,748人 ・施設利用率 36.6%		・中央公民館利用者数 21,162人 ・施設利用率 23.6%		・中央公民館利用者数見込 30,000人 ・施設利用率見込 30.0%			
成果		身近な学習施設である社会教育センターで、公民館利用者が気軽に利用できるよう生涯学習の場を提供し、住民の福祉の増進を図った。									
課題		新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため施設の利用制限を行ったことにより利用者数が例年に比べ大幅に減少した。コロナ禍においても継続して利用していただき、減少に歯止めをかける施策が求められる。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標		中央公民館利用者数（人）			45,005	45,748	21,162	30,000	40,000		
成果指標		施設利用率（%）			36.6	36.6	23.6	30.0	35.0		
他市との比較検証		近隣市（安城市）も、地区公民館単位で施設管理コストの削減に努めている。また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費①		27,163	26,435	26,112	29,650	合計	26,111,660円			
	財源	特定財源	2,421	2,406	1,578	2,393	需用費	7,555,368円			
		一般財源	24,742	24,029	24,534	27,257	役務費	464,627円			
	職員人件費②		3,858	2,310	1,867	2,260	委託料	17,717,086円			
	総事業費（①+②）		31,021	28,745	27,979	31,910	使用料及び賃借料	349,048円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称					
2年度までの累積事業費		0		社会教育センター使用料							
4年度以降の事業費見込		0									

会計名			施設改修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	社会教育センター	
款	項	目					担当係	社会教育センター	
10	6	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	適切な施設改修等により、施設の利用環境を良好な状態に保つ。			主たる内容	刈谷市民交流センター駐車場の借地部分を所有者に返還するための整地工事及び残地（市所有地）の駐車場整備工事を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令							
		対象者	市民			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 市民交流センター防水修繕 受水槽緊急用蛇口取付工事 		<ul style="list-style-type: none"> エントランスダウンライト修繕 発電機用蓄電池取替修繕 防犯カメラシステム取替修繕 防犯カメラ増設工事 1階女子便所鋼製ドア等取付工事 駐輪場段差解消工事 屋上防水等改修工事 		<ul style="list-style-type: none"> 駐車場整地等工事 		—	
成果		借地していた駐車場を更地に整地のうえ所有者へ土地を返還することができた。また、残地の市所有地をおもいやり駐車場と関係者用駐車場として再整備し活用することができた。							
課題		施設や設備の老朽化に伴い、改修等を継続して行っていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標	工事件数（件）			2	7	1	—	—	
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,335	3,253	22,993	0	合計	22,992,618 円	
	財源	特定財源	0	143	16,124	0	委託料	532,818 円	
		一般財源	1,335	3,110	6,869	0	工事請負費	22,459,800 円	
	職員人件費 ②		2,700	1,925	2,613	0			
	総事業費（①+②）		4,035	5,178	25,606	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		前年度繰越金					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			親子の公民館活動促進事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	社会教育センター		
10	6	3					担当係	社会教育センター		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	図書の購入と貸し出し、読書（絵本）講演会、おはなし会、学習会、赤ちゃん絵本講座を実施する。			
		基本施策	生涯学習							
	施策の内容	学習機会の充実								
	目的	「めばえ図書室」を開設し、乳幼児及び小学校低学年の児童とその親等への図書の貸し出し、講演会、おはなし会等の開催や、読書グループの育成を図ることにより、絵本を通して親子が触れ合い、子どもの心身の健全な育成に寄与する。								
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	乳幼児、小学生低学年とその母親等		事業期間	昭和51年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 課題 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・読書講演会 3回 ・おはなし会 0・1・2才児向け 21回 2・3才児向け 22回 園児・小学生向け 27回 ・学習会 41回 ・赤ちゃんの絵本講座 6回 ・図書蔵書数 15,684冊 ・利用者数 5,870人 ・図書貸出数 15,651冊		・読書講演会 3回 ・おはなし会 0・1・2才児向け 19回 2・3才児向け 20回 園児・小学生向け 21回 ・学習会 34回 ・赤ちゃんの絵本講座 6回 ・図書蔵書数 15,971冊 ・利用者数 5,474人 ・図書貸出数 14,424冊		・読書講演会 3回 ・おはなし会 0・1・2才児向け 中止 2・3才児向け 中止 園児・小学生向け 中止 ・絵本で子育て講座 中止 ・学習会 中止 ・図書蔵書数 16,299冊 ・利用者数 2,179人 ・図書貸出数 7,491冊		・読書講演会 3回 ・おはなし会 0・1・2才児向け 28回 2・3才児向け 19回 園児・小学生向け 21回 ・絵本で子育て講座 5回 ・学習会 20回 ・図書蔵書数見込 16,600冊 ・利用者数見込 3,000人 ・図書貸出数見込 10,000冊		
成果		絵本の貸し出しを行うとともに読書講演会を実施することにより、親子が絵本を通して触れ合うことができ、こどもの心身の健全な育成に寄与した。 図書管理システムを導入したことにより、絵本の貸し出し手続きや蔵書管理が容易になった。								
課題		新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、おはなし会や絵本で子育て講座、学習会を開催することができなかった。 本事業は親子対象として質の高い事業であるため、より多くの子育て世代が刈谷市の魅力の一つと感じ利用してもらえよう新型コロナウイルス対策を十分に施したうえでイベント等を充実させPRする必要がある。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
		30年度	元年度	2年度	3年度	5年度				
活動指標		図書室利用者数（人）	5,870	5,474	2,179	3,000	6,000			
成果指標		図書貸出数（冊）	15,651	14,424	7,491	10,000	16,000			
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①	1,693	1,721	1,882	2,115	合計	1,882,178 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報酬	974,848 円		
		一般財源	1,693	1,721	1,882	2,115	職員手当等	134,389 円		
	職員人件費 ②	3,086	1,540	1,867	1,507	報償費	195,000 円			
	総事業費（①+②）	4,779	3,261	3,749	3,622	需用費	50,981 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		2年度特定財源名称					
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								